

パレ著『欠損を補整する方法』(最終回)*

高山直秀**

前回に引き続き、パレ全集第12版、第23の書『欠損を補整する方法』の第12章の後半と最終章の第13章を紹介する。

第12章 切断されたものの代わりに人工の手、 腕、および脚を装着する方法

義足の図(図1)

木製の足の説明

0. 止め金の輪につがっている紐、脚を曲げる
ときにはこの紐を引く。
1. ネジ付きのく義足の>装着部および大腿が
中に入るように広げるためのネジ孔。
2. 円形の握り、ここに手を置いて回転させ
る。
3. く義足の>装着部の前面にある小さな輪。
これは義足を立てたり、望む方向に向ける
ために用いる。
4. 前方に2個、後方に1個ある締め金。これ
は胴衣の胴体部に結び付け、保持するため
に用いる。
5. 腕付きの小さな底部。この中に、先端から
2横指のところまで大腿を入れる。これは
また下肢の形を作り、外観を整えるのに役
立つ。
6. 下肢をたたむ止め金を動かすためのバネ。
7. 木製の脚の心棒が折れ曲がらないように、
これを保持している止め金。
8. 止め金を引くための紐が結んである輪。座
ったり、馬に乗っているときには、この止

め金を引くと脚の心棒を折り曲げることが
できる。

9. 脚を動かすために、膝の前面に取り付けた
蝶番。
10. 止め金が装着部から外れないようにするた
めの小さなバネ止め、これは、もし止め金
が外れるとバネがはじけて患者が倒れてし
まうので必要である。
11. 鉄製の輪、この中に心棒がはめ込まれてい
る。
12. 心棒の先にある別の輪。これには足を動か
すための蝶番がついている。
13. 足を元の位置に戻したり、動かしたりする
ためのバネ。

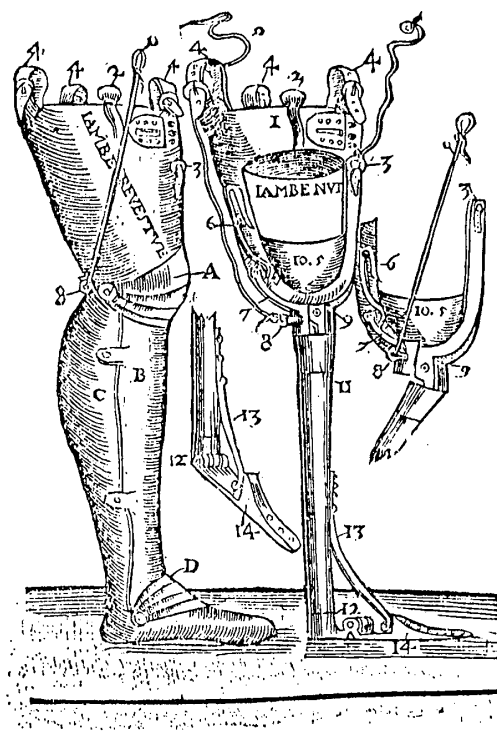


図 1

* "Les Moyens et Artifices d'Adiouser ce qui
defaut naturellement ou par accident" par
Ambroise Paré (fini)

** Naohide TAKAYAMA (本会会員)

14. 足を下方に動かすためのバネの停止部.

外装を施した義足 (図1)

- A. 膝の外観を整えるための鎧板
- B. 下肢の外観を整えるためのすね当て
- C. 下肢の外観を整えるためのふくらはぎ
- D. 足の甲を形成するための鎧板

貧しい人々のための義足の図 (図2)

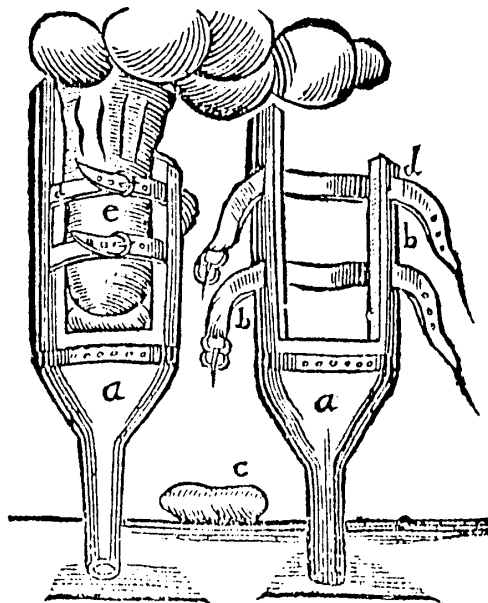


図 2

貧しい人々のための義足の図の説明.

- a a. 木製義足の幹部を示している.
- b b. 大腿部を入れる枝部. 短いほうの枝部を内側にして装着する.
- c c. 小さなクッション. これを義足の幹部の丸い上端に載せ, 膝 (切断端) を柔らかく支えるようにする.
- d d. バックル付きの革帯. 大腿部を締めて, 2本の枝部の間に保持するために, 枝部の2か所に水平に取り付けてある.
- e. 義足装着時の大腿部の位置を明らかにするために, 大腿部を示してある.

足を挙上する「背屈させる」のを助けるための包帯の図.

さらに, 剣あるいはその他の鋭利な武器の一撃を脛や下肢の神経に受けて, 傷が治った後にも患者が歩いたり, 足を挙げたりするのに非常に苦勞し, 半身麻痺患者のように足を引きずるということがしばしば起こる. この障害に対処するために患者はA Aで示したような帯の付いた布靴をはくとよい. この帯は幅が3横指の布製で, 膝の両側を通るように, 下肢の中央部には裂け目を入れてあり, 帯の上端は患者が歩くときに足を持ち上げたまま「背屈したまま」に保つために胴衣の紐孔にしっかりと結び付ける.

図は下のようである (図3).

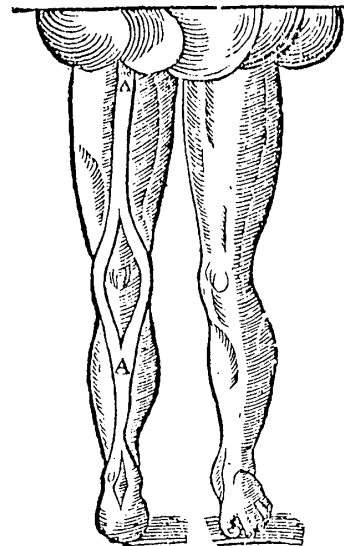


図 3

第13章 下肢の發育<障害>のために, びっこになった人を直立させる方法

何らかの障害のために下肢が短くなってしまうと, その患者はびっこになる. このような症状に対しては座付き杖という器具を用いる必要がある. これは障害の大きさを考慮して, 患者が楽に直立して歩行でき, また歩き心地がよいように作られている. 杖をつく人に合わせた杖の横木を前面からも後面からも図示しておく.

巧妙に作られた杖をついたびっこの人の図 (図4)

この杖は, ロレンヌ公爵殿下の侍医で師範外科医のニコラ・ピカールが考案し, 私が改良したも

*Figure d'un homme boiteux situé sur une potence de grand artifice, laquelle j'ay recouvert de
Maistre Nicolas Picard Chirurgien de Monseigneur le Duc de Lorraine.*

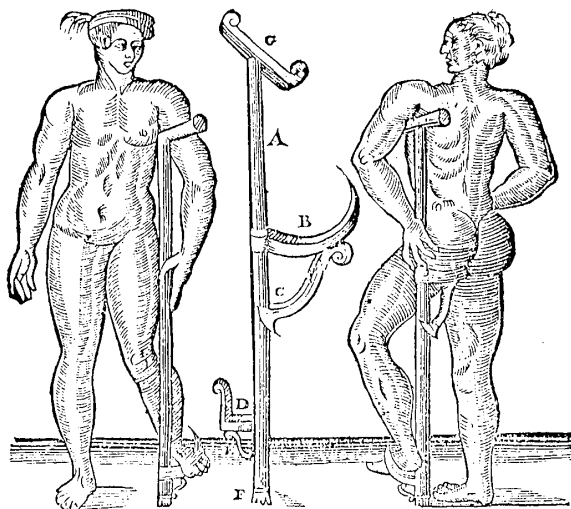


図 4

のである。

A. 木製の杖の心棒を示す。

B. 鉄製の座。これは殿部の下方に沿って大腿部を支える。

C. 上記の座を支える斜材。

D. 足を載せるための鉄製の鎧。これは患者の足を保持するために鉤形に曲がっている。

E. 上記の鎧を支える斜材。

頭部の皮膚病、脱毛症あるいはその他の原因で頭髪を失ってしまった人は仮のかつらを着けることができる。白髪になってしまった婦人たちも高齢にみられるのがいやならば、スカーフをかぶるであろう。これによって婦人たちは若々しく装い、しばしば男たちを欺く。実際より背を高くみせるためにはイタリア人やスペイン人のように厚底靴をはく。女たちはまた男たちの目をくらますために様々なことを行うが、婦人たちの不興を買うといけないので、ここには記さないことにする。